

びわぎん

環境保全・地域貢献 かわら版 2007

2007年 環境保全・地域貢献報告書



ビオトープとは・・・

生き物の生活空間のことを意味します。いろいろな生き物が生息する自然と人間が共生できる場所として、開発優先への反省にたつて、1970年代にドイツで始められ、国内でも学校関係を中心に数多く造られています。自然のすばらしさや生命のつながりについて学ぶ貴重な場所になっています。当行においても、10年ほど前より学校等のビオトープ造りに助成しています。

平成18年度 びわぎん緑と水の 基金助成事業

大津市立真野中学校PTA
平成18年度助成事業
(創立20周年を記念として校庭に
ビオトープを造成)



みんなが協力しあって、
ビオトープづくりに汗を流しました。



生き物や植物も
すくすく育っています。



ホテイアオイ、ヤマトヌマエビ、
メダカなども成長しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

びわこ銀行は政府が呼びかける“チーム・マイナス6%”の趣旨に賛同し、温暖化防止のため「環境銀行」の取り組みをはじめさまざまな活動を行っています。



びわこ銀行
BiwakoBank

環境と経済の両立で 地元役に立つ「じぎん」づくり

私どもびわこ銀行は、単なる「地方銀行」ではない「地元の銀行」という思いを込めた「じぎん」をキャッチフレーズに、地元のお役に立つ銀行を目指しております。

滋賀県は、日本一の琵琶湖を抱える土地柄から、とりわけ環境問題に対して関心が高く、さまざまな環境保全活動が盛り上がっています。そうしたなか、「環境」を銀行経営の中枢に取り込もうという企業文化が育まれてきました。全国金融機関に先駆けたクールビズの導入や琵琶湖一周に相当するサクラの植樹実績はその一例です。

それだけではありません。私どもでは銀行の中に「環境銀行」なる組織を作り、各種環境に関する預金・融資・サービスを積極的に開発・推進しております。9月からは、「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」を発売し、政府の「1人、1日、1kgCO₂削減応援キャンペーン」協賛企業の第一号として参加・応援しています。この定期預金は、「私のチャレンジ宣言カード」で1kg以上のCO₂削減目標を宣言されたお客さまに対して金利を優遇するもので(さらに残高に応じて一定割合を銀行負担で県内環境団体へ寄付します)、お客さまお一人おひとりの身近な行動が、「1人、1日、1kgのCO₂削減」につながり、滋賀県だけではなく、全国的に大いに盛り上がることを期待しています。

こうした活動がやがて地球にもやさしく、地元の経済も潤うという、よい循環を生み出すものと確信しております。

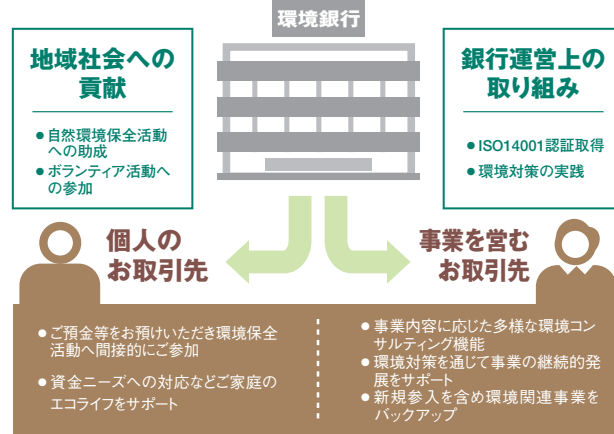


びわこ銀行 頭取

やま だ おさむ
山 田 督

「環境銀行」

「環境銀行」では、産業界の新しい分野として確立されつつある「環境関連事業」をご融資など銀行本来の業務を通じて支援していこうと考えています。



行内組織により、効果的な機能が発揮できる運営体制としています。

- 環境関連事業委員会の設置
- 専門機関との連携

活動内容は四半期ごとに情報開示します。

- 環境部門を明確に区分することにより、ご理解いただきやすい事業報告を実施していきます。

「環境銀行」について

エコ定期預金 ～お預けいただくことで環境保全に貢献できます～

お預かりした預金残高に応じ、一定割合を環境保全活動に寄付する「エコ定期預金」を取り扱っています(平成18年10月よりエコ・クリスタル定期預金※を平成19年9月よりCO₂ダイエット・チャレンジ定期預金を発表)。間接的に地域の環境保全に取り組むことができる商品性を多くの人に評価していただき、残高を順調に伸ばしています。平成19年2月には、平成18年10月末の残高に基づき、950万円を次の県内の環境保全5団体に寄付しました。

※「エコ・クリスタル定期預金」…琵琶湖(北湖)の透明度が1年間で改善されていけば優遇金利を適用いたします。
※「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」…詳しくは下記をご覧ください。

(財) 淡海環境保全財団



▲淡海環境保全財団 ヨシ刈りボランティア活動(高島市新旭町) 贈呈式

環境活動団体助成事業

当行の寄付により運営しております。

滋賀県の優れた自然環境の保全や地域における環境改善等のために、さまざまな実践活動に取組み社会に貢献する団体に対して、なお一層の進展を図ることを目的として助成を行う。

(財) 滋賀県緑化推進会



サクラの植樹事業 昭和63年植樹(黎明の里: 東近江市)

淡海ネットワークセンター



▲ネットワークセンター 基金贈呈式
かいどり大作戦(NPO法人運生野考現倶楽部)

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター



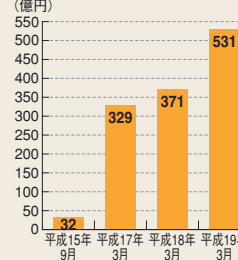
地球温暖化防止啓発活動(びわこエコカップ手島杯争奪学童野球大会) [平成19年8月: 皇子山球場にて]

(財) びわこ緑と水の基金



伊崎国有林にサクラ・コナラ・クリ等を植栽(ヒマラヤン・グリーン・クラブ)

【環境関連定期預金残高】



「環境銀行」トピックス ～常に新しい視点から商品、サービスを見直しています～

CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金の発表

「CO₂ダイエット・チャレンジ定期預金」は、「私のチャレンジ宣言カード」で1kg以上のCO₂削減目標を宣言されたお客さまに対して金利を優遇します。(さらに残高に応じて一定割合を銀行負担で県内環境団体へ寄付します)。

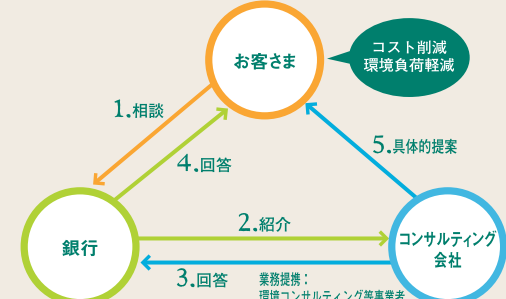


地元の木材を活用した住宅建築を奨励

滋賀県では、地元の木材を活用した住宅建築を奨励しており、平成18年6月より「びわ湖材産地証明制度」がスタートしています。当行も趣旨に賛同し、同制度の認定を受けた住宅にエコライフプランを設定することといたしました。住宅に地元で採取された木材を使うことで、長距離輸送に伴う環境負荷軽減など、環境問題への貢献は大きいとされています。

環境コンサルティング機能の充実

環境コンサルティング事業者と業務提携して省エネによるコスト削減やマネジメント改善を提供します。

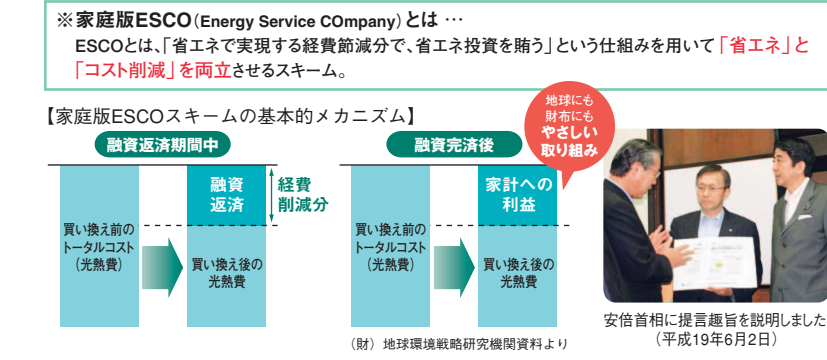


当行の提言が「優秀提言」に選出

平成18年度(環境省主催) NGO/NPO・企業環境政策提言優秀提言

優秀提言 「多主体連携による家庭版ESCOスキームを用いた家庭部門の省エネルギーの推進」

【共同提言】(株)びわこ銀行、滋賀県電器商業組合、財団法人 地球環境戦略研究機関



おかげさまで「環境銀行」は各方面から高い評価をいただくことができました。

平成18年6月 第4回「日本環境経営大賞」環境経営部門 環境経営優秀賞 受賞

地球温暖化防止活動環境大臣賞 受賞

ISO14001 登録組織表彰 第2回「環境マネジメント大賞」 地域環境支援賞 受賞

表彰状

平成18年12月11日、若林環境大臣より表彰状を拝受しました。

頭取が嘉田 由紀子 滋賀県知事に受賞を報告しました。

エコ・サポートローン

信用保証協会と連携して環境資金をサポートします。

ISOサポートローン

ISOをはじめ、各種環境規格の認証取得に要する資金に対応します。

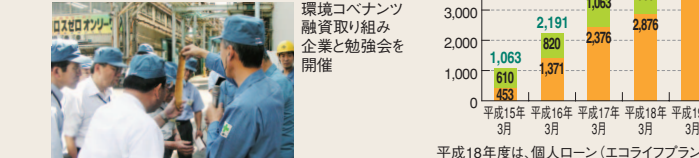
エコライフプラン

環境にやさしい住宅・マイカーのために3つのプランをご用意して優遇しています。

- 住宅ローン ……環境配慮型の住宅を建築するための資金
- リフォームローン ……自宅に環境配慮型設備を設置するための資金
- オートローン ……低公害車を購入するための資金

環境コベナンツ付融資

企業の環境目的の達成状況により適用利率を変更する新しいタイプのご融資です。例えば、新しい省エネ設備を導入した場合、後に成果が出ていけば、ご融資利率を優遇するという特約を交わします。地域金融機関として、ご融資がどのように使われ、生かされているかを検証する機能を重視しています。



環境省と共催で「環境シンポジウム」開催

環境に配慮した「お金」の流れを拡大し、家庭における省エネ等を促進していくことについて、皆さまと一緒に考えるシンポジウムを環境省と共催で実施し、約250名のお客さまに参加いただきました。

平成19年6月開催 コラボしが21にて

省エネ家電を購入し、省エネとコスト削減を両立するための課題

- 事業者(メーカー、販売業者等)の採算性の問題
- トータルコストの啓発不足

多主体連携による家庭版ESCO

(販売店、銀行、温暖化防止活動推進センター、国、自治体等)

ISO14001 登録組織表彰 第2回「環境マネジメント大賞」 地域環境支援賞 受賞



環境サポートローン

3R(リデュース・リユース・リサイクル)をキーワードとしたビジネスシーン拡大に対応し、事業者向けに目的別の5プランを設定しています。

- クリーン設備プラン ……大気汚染・水質汚濁を防止するための設備資金
- 省エネ設備プラン ……省エネルギー対策のための設備資金
- リサイクル設備プラン ……資源のリサイクルを行うための設備資金
- 土壌汚染改良プラン ……土壌汚染の防止・改良のための設備資金
- 環境産業支援プラン ……環境関連産業を営む事業者向けの設備資金

BCP対応サポートローン

地震などの自然災害による被害を最小限にするための設備資金などに対応します。

「環境銀行」の決算を公表します

「環境銀行」損益計算書[平成18年4月1日から平成19年3月31日まで](びわこ銀行の環境関連事業活動のみの報告書です)

	平成18年3月期	平成19年3月期
経常収益	376	666
資金運用収益	345	620
うち貸出金利息	(59)	(239)
うち部門間運用利息	(286)	(380)
役員取引等収益	0	0
その他業務収益	30	46
経常費用	259	531
資金調達費用	33	91
うち預金利息	(33)	(91)
役員取引等費用	9	64
その他業務費用	0	12
営業経費	215	363
経常利益	117	135

環境関連融資に対する利息です。

環境関連預金に係る利息です。

原価計算を用い、環境関連事業の経費を算出しています。

方針・目的・目標

びわこ銀行環境方針

< 基本理念 >

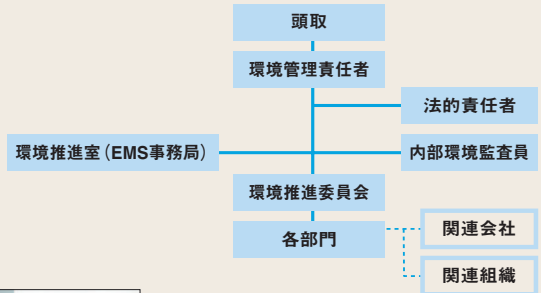
びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の維持と改善に努め、環境こだわり銀行として地域社会との共生を目指します。

< 環境方針 >

1. びわこ銀行は、地球温暖化防止など環境負荷の軽減を推進するエコ・リーダーバンクとして、環境保全に資する商品・サービス・情報の提供など環境関連事業活動を積極的に展開し、環境保全活動の側面からも地域貢献を果たします。
2. 省資源、省エネルギー、グリーン購入など、環境に配慮した活動の実践により循環型社会の形成および汚染の予防に努めます。
3. 環境目的・目標を定めて、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 環境保全に関する法規則および、同意したその他要求事項を順守します。
5. 緑の森林(もり)づくり運動の支援や環境教育の啓発に努め、基本理念および環境方針の趣旨を従業員一人ひとりが理解・共有し、行動することにより地域との交流を図ります。
6. 環境方針は当行の環境保全に関する決意として、一般に公表します。

制定 平成12年 7月 5日 株式会社 びわこ銀行
 改訂 平成17年 7月 5日 頭取 山田 智

環境マネジメント組織図



環境マネジメントシステム登録証
 活動範囲: 本店および事務センター
 [JQA-EM1274]



平成18年12月、ISO14001更新審査(ステップアップ診断)を受審し、より高い目標を目指す当行の取り組みを評価いただきました。



環境目的および目標 (平成17年度)

環境目標	実績	評価	推進状況	
環境保全型・商品、情報の提供<環境銀行の運用>				
環境保全型商品	・エコ関連商品の開発	・環境サポートローン、ISOサポートローン取り組み ・エコサポート(保証協会付き・環境ローン)の取り組み	○	・優遇条件を適用 ・環境コベナンツ(特約)融資の取り扱い ・ガス利用、オール電化、太陽光発電設置、住宅性能基準と新たに「地産材住宅」を優遇条件に取り入れ ・耐震リフォームローン取り扱い
	・エコ関連情報の提供	・全店宛にメールで最新環境情報を発信(191件)	○	・最新の環境情報を都度発信
	・環境に配慮した頒布品の購入	・頒布品は全て環境配慮商品としました	○	・再生した陶器を頒布品としています ・手提げ袋もエコ仕様になっています
ISOマネジメントシステムによる銀行業務の合理化および効率化				
	・各部門の特色を生かした効率化、合理化につながる目標に取り組みました	—	・3R・3S活動、事務の合理化、時間効率活動など ・環境関連商品の開発 ・e-ラーニングを活用した環境教育の充実	
びわざんエコオフィスづくり運動				
省エネ	・各部門は「運用基準」に基づく活動 (参考:平成16年度より運用管理) ・全体の電力使用量は160.0万Kwh	・「運用基準」に基づき実行 ・165.3万Kwh、前年比+0.8%	○	・各部門独自の運用基準を設定 ・不要時の消灯励行 ・省エネ機器への変更 ・組織変更に伴い総使用量は前年比増加しました
	・「関西エコオフィス宣言」参加により「夏季省エネ(ノーネクタイ運動)」を展開	・本店および全店で展開	○	・「関西エコオフィス宣言」「滋賀チャレンジオフィス」お客さまにも呼びかけました
省資源 (ゼロエミッションへの挑戦)	・低公害車率の向上、85.5%以上	・87.0%、前年比△2.8%	○	・天然ガス車、バイオ燃料を導入、軽自動車導入率の向上
	・紙の使用削減、333.0万枚/年	・327.0万枚/年、前年比+5.7%	△	・個人情報保護による裏面コピー使用の見直し(紙の使用増加) ・両面印刷の推奨 ※特殊要因により前年対比は増加しました
	・廃棄物(焼却紙)の削減、4.7トン/年	・4.5トン、前年比△2.2%	○	・「ゴミゼロ大作戦」展開、シュレッダーごみをトイレトペーパーにリサイクル、ペットボトルキャップのリサイクル
	・紙のリサイクル率向上、93.0%	・94.0%、前年比+0.4ポイント	○	・「紙ゴミ削減運動」展開
グリーン購入	・特定商品のグリーン購入率94.0%	・94.6%、前年比+0.1ポイント	○	・特定調達品目および判断基準に基づき推進
緑の森林づくり運動の推進				
環境保全活動への支援	・びわざん緑と水の基金への支援	・緑化推進、水環境保全、自主事業活動実施	○	・延べ116千本の苗木を寄贈
	・びわこボランティア活動への支援	・びわこ水源の森林づくり実施 ・「びわこの日」環境美化活動への参加	○	・「近江湖南アルプス自然休養林」で150本植樹(山桜、ツツジ、イロハモミジなど) ・琵琶湖の美化に積極的に参加